

研究課題名	網膜疾患における変視（M-CHARTS）と各種画像検査所見との関連に関する後ろ向き観察研究
試料・情報の利用目的・利用方法（他機関へ提供する場合その方法）	網膜や黄斑（ものを見る中心の部分）の病気では、物がゆがんで見えることがあります。変視は日常生活に大きな影響を与えますが、その程度と眼底の状態や画像検査との関係については、十分に明らかになっていない点があります。 本研究では、当院で診療を受けられた網膜・黄斑疾患の患者さんの診療情報を利用し、変視の程度を測定する M-CHARTS（エムチャート：物のゆがみを定量的に評価する検査）と、光干渉断層計（OCT：網膜の断面を撮影する検査）をはじめとする各種画像検査との関連を調べます。また、視力や治療前後の変化などとの関係についても解析を行います。 本研究で得られた結果は、変視の原因や病態をより深く理解し、網膜・黄斑疾患の診断や治療効果の評価に役立てることを目的としています。 本研究は、通常の診療で得られた診療情報を用いて実施する後ろ向き観察研究であり、新たな検査や治療を追加で行うことはありません。また、研究に使用する情報は個人が特定できないよう匿名化した上で解析を行います。本研究で収集した情報を他の機関へ提供することはありません。
研究対象者	2020 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日までの間に当院眼科を受診し、網膜・黄斑疾患と診断され、診療の一環として M-CHARTS（変視検査）および眼底画像検査（OCT 等）を施行された患者さんを対象とします。
利用又は提供する試料・情報の項目	本研究では、診療録（電子カルテ）から以下の情報を利用します。 年齢、性別 診断名 既往歴、合併症 視力、屈折値などの眼科検査結果 M-CHARTS（変視検査）の測定結果 光干渉断層計（OCT）、OCT アンギオグラフィ（OCTA）、眼底写真、蛍光眼底造影検査（FA）、眼底自発蛍光検査（FAF）などの画像検査結果 治療内容（手術、硝子体内注射、レーザー治療、薬物治療など） 治療前後の経過および診療情報 本研究では、新たに試料（血液や組織など）の採取は行いません。通常診療で得られた情報のみを利用します。
研究予定期間	機関の長の実施許可日 2026 年 8 月 18 日 ～ 2028 年 3 月
試料・情報の取得方法	本研究では、通常診療の過程で電子カルテに記録された診療情報および眼科検査結果を利用します。研究対象者に対して新たな検査や試料採取は行わず、電子カルテ、眼科検査システムおよび画像管理システムに保存されている診療情報を研究責任者および研究分担者が収集します。収集した情報は、個人を特定できないよう匿名化した上で解析を行います。

(研究書式 14)

試料・情報を利用する者の範囲	本研究は当院単独で実施し、収集した情報を院外の機関へ提供することはありません。
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又は機関の名称	府中病院 眼科 氏名：上野 寛
研究に協力したくない場合	本研究への診療情報の利用にご同意いただけない場合は、下記のお問い合わせ先までお申し出ください。お申し出をいただいた場合は、研究対象から除外いたします。 お申し出いただいたことにより、診療や治療において不利益を受けることは一切ありません。
利益相反について	本研究に関連して開示すべき利益相反（企業等との利害関係）はありません。本研究は特定の企業や団体から資金提供を受けて実施するものではなく、研究の実施および結果の公表に影響を及ぼす利益相反はありません。
お問合せ先	府中病院 眼科 氏名：上野 寛 〒594-0076 大阪府和泉市肥子町 1-10-17 TEL：0725-43-1234（代）